

第1章 ご近所医科歯科連携のススメ

人生100年時代、歯科ならではの強みが生きる

- 1 人生100年、今や国策となった「かかりつけ医」としての歯科の強み
クロストークVol.1 「かかりつけ医」医科と歯科の違い
- 2 歯科なら「一人の患者さんを生涯継続して診ることができる」
クロストークVol.2 「連続性のある医療の今日的な価値」
- 3 歯科医院は患者さんの病気や予兆をキャッチできる最適の場
- 4 国が期待する医科歯科連携の相乗効果
Special Lecture 1 医科歯科連携の流れはこうしてできた!
- 5 医科歯科連携を難しく考えない! 「ご近所医科歯科連携」と捉えよう
Special Lecture 2 医科歯科連携のモデルとは
- 6 医科歯科連携で経営的にも強いオンリーワンの歯科医院になる!
- 7 開業から1年1ヶ月で医科からの紹介患者さんは月70名!

Column 歯科が持つ患者さんの生活情報は、医科から大好評!

クロストークVol.6 「医科への返信にも一工夫!術前後の口腔内写真を活用しよう!」

クロストークVol.7 「返信は人と人のつながりを深める文通のようなもの!」

第5章 自主的連携のススメ

臨床中にある医科歯科連携のチャンスをつかめ!

- 1 妊産婦検診で来院した妊婦さんを介してつながる
- 2 地域の産婦人科にポスターを配布する
- 3 周術期で来院した患者さんから病院とつながる
Column 家族との連携も視野に入れよう・認知症の発見に!
- 4 ビスホスホネート製剤服用患者さんを介し、整形外科とつながる
- 5 がん患者さんを介し、主治医とつながる

第6章 定期健診×ご近所医科歯科連携でめざせ!

人生100年時代の歯科医院になるためのヒント

- 1 患者さんの健康寿命を延ばすことを歯科医院の目標にする
- 2 歯科受診は全身的健康維持にもつながることをアピールしよう
- 3 患者さんに「健康」を意識してもらうための仕掛けをする
- 4 医科との連携のニーズに気づき、対診につなげる“想像力”を養おう

第7章 特別寄稿

私たちが参加! “ご近所医科歯科連携” FUKUOKA医科歯科連携プロジェクトを始動!

- 1 歯科医師18名でプロジェクトを始動
- 2 歯科医院の全身健康ステーション化は、健康寿命の延伸に貢献する
～歯科医院と社会とのインターフェイスに着目して～
- 3 未来ある子どもたちの健やかな成長のためにできること
～現代を生きる子どもたちの成長に寄り添う医療連携の形～

第8章 このデータで医科や患者さんに語ろう!

歯科は医科とともに患者さんの健康を守ります

- 1 “よく噛めない”状態では食事が偏り、肥満や高血糖を招きます
- 2 “よく噛めない”状態では、カロリーは足りても栄養が足りていません
- 3 歯科治療で“噛める口”を取り戻すと、体にこんな嬉しい変化が起こります
- 4 歯科治療を受けて噛めるようになったら、カロリーオーバーに注意!
- 5 よく噛めないままの口では“ウイルス感染”のリスク大です
- 6 よく噛めない口での自己流ダイエットには、筋力低下の危険あり!
- 7 「噛めない」を放置すると、将来は寝たきりに?

第2章 「一人の患者さんを地域で診る」

ご近所医科歯科連携への臨み方

- 1 「医科と歯科が患者さんを共に治す、共に支える」を連携の目標に
- 2 ご近所医科歯科連携は互いにメリットだらけ
Column 「かかりつけ歯科機能強化型歯科診療所」認定の勧め
- 3 最初はいまよりいかなくても当たり前
- 4 人生100年時代だからこそ、自分の分野だけでは終われない
クロストークVol.3 「ご近所医科歯科連携とは“人と人とのつながり”」
Special Lecture 3 医科歯科連携成功の3つの鍵とは
- 5 いちばん連携しやすい糖尿病から始めよう

第3章 連携してくれそうな相手を探そう

筆者流探し方アドバイス

- 1 ご近所医科歯科連携は相手探しから
- 2 「ここなら大丈夫そう」なクリニックをみつける
- 3 こちらの本気度を示す
Column 高額機器の購入に関する筆者の考え方

第4章 この一工夫が大事です

すべては診療情報提供書次第!

- 1 連携にあたっての3つのマナーを守ろう
クロストークVol.4 「内科医にどんな患者さんが連携の対象かを伝える方法」
- 2 歯科から医科への診療情報提供書を重視する
クロストークVol.5 「診療情報提供書に人柄が現れる」

あなたの歯科医院は人生100年時代に対応してる?

ご近所医科歯科連携 導入マニュアル



未来の大人である子ども達から、高齢者に至るまで、すべての世代が通院する歯科外来の素晴らしさ。本書には、その人の生涯を「医科と共に」支え続けるためのノウハウが刻まれています。

歯科の崇高性は「連続性」にあり!

(糖尿病専門医 西田 互)

医科歯科連携を軌道にのせ
近隣クリニックから
厚い信頼を得ている
押村憲昭先生が成功の秘訣を
あますことなく語ります

監著 押村憲昭

著 武内博朗、赤司征大、今林大輔、関善弘、白石聖恵、山村加奈

定価 7,920円(税込)、A4版、128ページ



Profile

「人生100年時代」の歯科医療の考え方を提言し、自ら実践する。予防歯科を基軸に、医科と連携しながら小児～成人、全身疾患患者、高齢者まで人々の生涯にわたる健康問題に関わり、「健康寿命の延伸」に貢献する次代の歯科医療のあり方を提言する若きニューリーダー。

<略歴>

- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| 2010年 愛知学院大学歯学部卒業 | 2015年 名古屋市内の医院にて勤務 |
| 2011年 愛知学院大学歯学部附属病院
研修医修了 | 2018年 おしむら歯科にて勤務 |
| 2012年 静岡県の敬天堂歯科医院勤務 | 2020年 愛知県名古屋市中区
かすみり・おしむら歯科開業 |

監著者 押村憲昭 (おしむら のりあき) かすみり・おしむら歯科医院 院長

注文票

品名	税込価格	冊数
あなたの歯科医院は人生100年時代に対応してる? ご近所医科歯科連携導入マニュアル	7,920円	



インターアクション株式会社

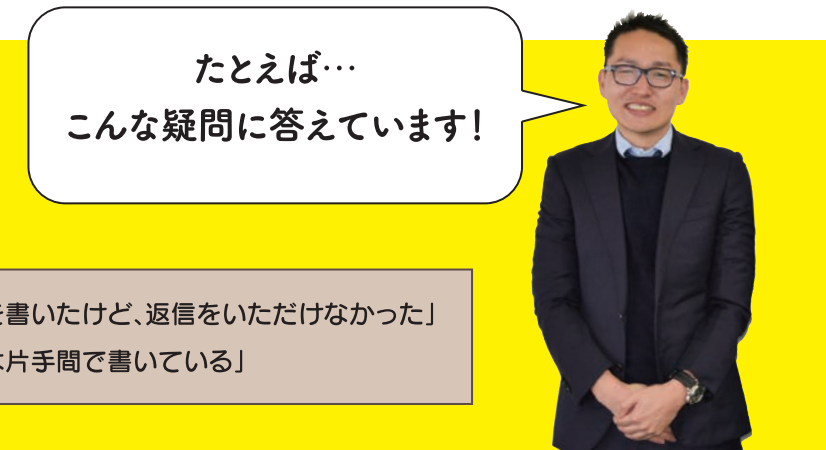
東京都武蔵野市境南町 2-13-1-202

TEL 070-6563-4151 FAX 042-290-2927

http://interaction.jp

「先生の歯科医院では、医科歯科連携がなぜ、うまくいっているの?」と言われる「押村流・ご近所医科歯科連携」の秘訣を全公開!

医科歯科連携にあたっての読者の疑問、不安、悩みに本書がお答えします



たとえば…
こんな疑問に答えています!

- 「うちはビスホスホネート服用患者さんでとっくに連携しているよ…」
- 「医科歯科連携の必要性はわかっているが、始め方がわからない…」
「やってみたけど、うまくいかなかった…」
- 「医科の先生にどんな話をすればいいの?」
- 「医科歯科連携の対象になる患者さんはそれほど多くないのでは…」
- 「診療情報提供書を書いたけど、返信をいただけなかった」
「診療情報提供書は片手間で書いている」

糖尿病専門医も羨む人生100年時代の歯科の強みがわかる!ここに連携を始める根拠あり!

2 歯科なら「一人の患者さんを生涯連続して診ることができる」

歯科医院は健康な患者さんへ会える稀有な医療機関

読者の皆様は歯科医院が治療や予防を通じて「1人の患者さんをつつと診れる」こと、すなわち「継続性のある医療の場」に気づいておられますか? 歯科では高い「頻度と継続性」がもたらす「継続性」が、この「健康な患者さん」の獲得に大きく貢献しています。内科や小児科、小児科など専門分化した医療で行うことのできない、とても重要な医療です。歯科は、子どもから高齢者まで幅広い世代に患者さんが訪れることができる稀有な医療機関です。歯科は、子どもから高齢者まで幅広い世代に患者さんが訪れることができる稀有な医療機関です。

一人の患者さんを生涯連続して診ることができる。それは、歯科医院の強みです。私はそれによって患者さんをつつと診ることができ、人生100年と今や半世紀以上続いた診療は、まさに「一人の患者さんを生涯連続して診ることができる」の強みです。

「一人の患者さんを生涯連続して診ることができる」の強みは、歯科医院の強みです。私はそれによって患者さんをつつと診ることができ、人生100年と今や半世紀以上続いた診療は、まさに「一人の患者さんを生涯連続して診ることができる」の強みです。

「一人の患者さんを生涯連続して診ることができる」の強みは、歯科医院の強みです。私はそれによって患者さんをつつと診ることができ、人生100年と今や半世紀以上続いた診療は、まさに「一人の患者さんを生涯連続して診ることができる」の強みです。

押村流「ここなら大丈夫そう」な医科クリニックの探し方をお伝えします

何から話せばいいんだろう? 地域のどの先生にお願いできそうかな? よりも… から始めよう!

スタッフの数が比較的多いところやホームページを常に更新している医院がオススメ!

Renewal!

診療情報提供書の書き方が実は肝! いろいろな医科へのサンプルレター満載!

〇〇産婦人科 〇〇先生御机下
いつもお世話になっております。
〇〇様ですが名古屋市産婦人科検診で当院に受診され、口腔内の状態を拝見させていただきました。中程度の歯周病に罹患しておられ、むし歯も数カ所認められます。つわりであまり歯磨きができておられないようです。
歯科治療は定期に行う予定をしております。また、歯周病と早産との関係も言われており、妊婦さんはホルモンのバランスにより歯肉に炎症が起きやすいので、こちらにしっかりと治療と口腔ケアを行ってまいります。また、投薬、全身状態の把握など何かありましたら先生のお力を借りることもありますが、その際はよろしくお願いたします。
またできましたら先生方にも、妊娠後期になり親知らずがひどく腫れて来

院内でも血圧や血糖値をチェックし、医科につなごう

3 患者さんに「健康」を意識してもらうための仕掛けをする

いつでも・どこでも・手軽にできる方法で実践!

以下に臨床の様々なタイミングで、また患者さん自身でも血圧や血糖値を測定していただくことで、ぜひ参考にしてみてください(図2)。

例えば臨床のこんな場面で仕掛けよう!

- 初診時: 問診にて内科的疾患や服用している薬を確認する
- 初診や月初めの保険証提示時: 待合室で血圧測定を行う
- 口腔内チェック時: 口腔内と共に体組成計にて全身状態をチェック
- 糖尿病患者さん: 血糖値、グルコース、およびHbA1cを測定する
- 65歳以上の患者さん: 口腔機能精密検査を実施する

ご近所医科歯科連携は、健全で安定した経営をもたらしてくれる

6 医科歯科連携で経営的にも強いオンリーワンの歯科医院になる!

簡単には真似されない人生100年時代の医院をめざす

開業から1年1ヶ月で医科からの紹介患者さんは月70名!

地域からも信頼され、評価される歯科医院になれる

「開業から1年1ヶ月で医科からの紹介患者さんは月70名!」と聞くと、「こんな患者さん初めてきたー!」と好評です。筆者の目指す歯科医療は、経営の面からも開業に貢献です。結果としてプラスに働いています。ですので、前頁で述べた医科歯科連携のための診療提供は、最終的に医科の収益がプラスになるのであれば、自然の特長作りのために信頼されるものと考えています。

相手に伝わる「添付資料」の工夫も欠かせない

患者さんに自分の血圧を把握してもらうための工夫

患者さんに自分の血圧を把握してもらうための工夫

患者さんに自分の血圧を把握してもらうための工夫

患者さんに自分の血圧を把握してもらうための工夫

待合室で血圧測定を行う

患者さんに自分の血圧を把握してもらうための工夫

患者さんに自分の血圧を把握してもらうための工夫